

## 12. 妥協しない

日本の映画監督<sup>えいがかんとく</sup>は世界の映画監督<sup>えいがかんとく</sup>に影響を与えている。例えば、「ラストエンペラー」の監督<sup>かんとく</sup>ベルナルド・ベルトリッチは溝口健二から、「キル・ビル」の監督<sup>かんとく</sup>クエンティン・タランティーノは深作欣二から影響を受けたと言っている。ベルトリッチ、タランティーノの両監督<sup>りょうかんとく</sup>が影響を受けた溝口にしても深作にしてももちろん素晴らしい監督<sup>かんとく</sup>であることは確かだが、それ以上\*に世界的に有名な日本の監督<sup>えいがかんとく</sup>と言えば黒澤明<sup>くろさわあきら</sup>だと言ってもさしつかえないだろう。

黒澤<sup>くろさわ</sup>は 20 代のはじめ画家をめざしたが、助監督募集<sup>じょかんとくぼしゅう</sup>の広告を見て映画会社<sup>えいががいしゃ</sup>に入社する。黒澤<sup>くろさわ</sup>は 30 本の作品を撮っているが、海外で初めて評価<sup>ひょうか</sup>を得た作品は「羅生門」だ。黒澤<sup>くろさわ</sup>はこの作品で、ベネチア国際映画祭金獅子賞<sup>こくさいえいがさいきんじししょう</sup>を受賞して、彼の名前は一気に世界に広がった。

黒澤<sup>くろさわ</sup>は完璧主義<sup>かんぺきしゆぎ</sup>だったようで、彼が撮る映画は映画会社の意向もかまわず多額の費用と日数がかかった。傑作<sup>けっさく</sup>と言われている「七人の侍<sup>さむらい</sup>」では、黒澤<sup>くろさわ</sup>はハリウッドの西部劇に劣らない時代劇を作るために徹底的<sup>てっていてき</sup>にリアリズムを追求し、妥協を許さなかったという。例えば、映画のロケーションの場所を探す際には、3 か月の時間をかけた。そして、映画の中に出てくる 100 人近いエキストラの農民<sup>のうみん</sup>を本当の村人に見せるため、映画のストーリーと無関係<sup>むかんけい</sup>であるのに、全てのエキストラを家族に分け、それぞれの名前と年齢、セットの中での家まで決めただけで、常に家族で行動するように求めた。また完璧主義者<sup>かんぺきしゆぎしゃ</sup>だけに、侍のテーマ音楽を作る際には黒澤<sup>くろさわ</sup>の意見に沿って彼が気に入るまでなんと 20 回も作り替えられたそう。黒澤やスタッフ、出演者<sup>しゅつえんしゃ</sup>の努力もあって、「七人の侍<sup>さむらい</sup>」は公開されると大ヒットとなった。

スティーブン・スピルバーグは、映画の撮影<sup>さつえい</sup>や製作<sup>せいさく</sup>に行き詰まった時に観る映画の一つとして「七人の侍<sup>さむらい</sup>」をあげているのはよく知られている話だ。また、ジョージ・

ルーカスの「スター・ウォーズ」は黒澤<sup>くろさわ</sup>の映画の影響を強く受けており、「ジェダイ」は時代劇<sup>じだいげき</sup>の「時代」から、ジェダイのライトセイバーは日本の刀の持ち方をまねて両手で持つようになっている。そして、ダースベーダーは、もともと「七人の侍<sup>さむらい</sup>」にも出演した三船敏郎にオファーされたそうだが、そんな子供っぽい映画には出られないと三船が断ったため実現には至らなかったそうだ。このように黒澤<sup>くろさわ</sup>の映画に対する姿勢<sup>しせい</sup>\*\*、そして作品は世界の多くの監督<sup>かんとく</sup>らに影響を与えたが、今後も多くの監督<sup>かんとく</sup>に影響を与え続けていくに違いない。

#### 単語リスト：

監督（かんとく）	Đạo diễn	徹底（てってい）	Kỷ lưỡng, tỉ mỉ
影響（えいきょう）	Ảnh hưởng	追求（ついきゅう）	Theo đuổi
完璧主義（かんぺきしゅぎ）	Chủ nghĩa hoàn hảo	妥協（だきょう）	Thỏa hiệp, thỏa thuận
侍（さむらい）	Võ sĩ Samurai	撮影（さつえい）	Quay phim
傑作（けっさく）	Kiệt tác	姿勢（しせい）	Tư thế